

令和 8 年 2 月 10 日

保護者のみなさま

島本町立第四小学校

校長 川口 直樹

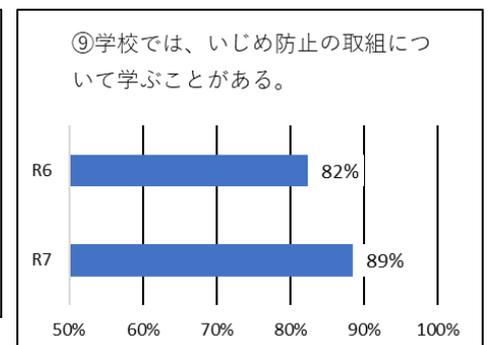
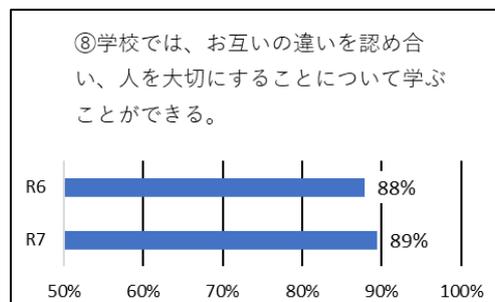
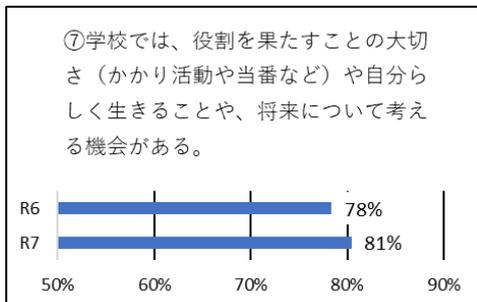
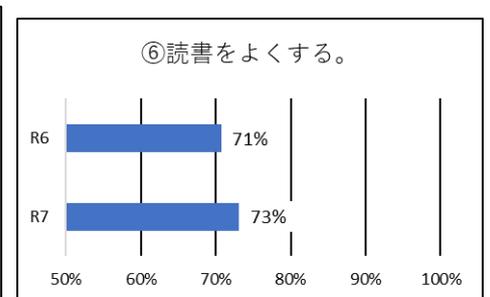
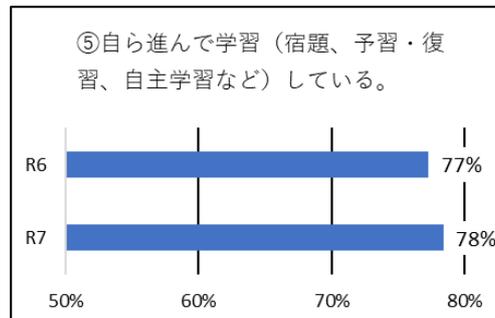
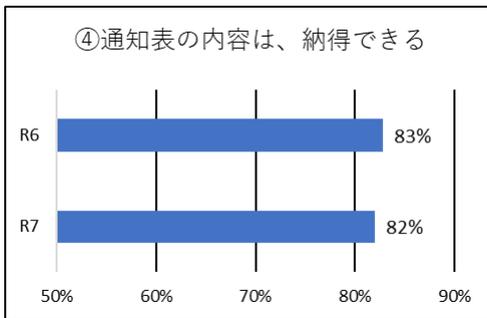
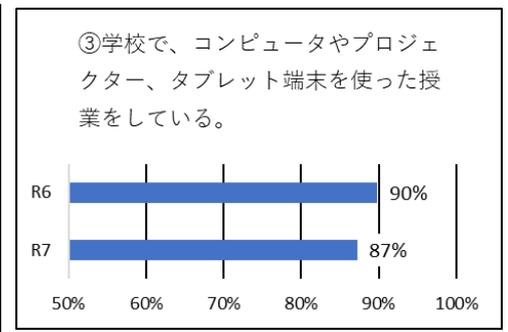
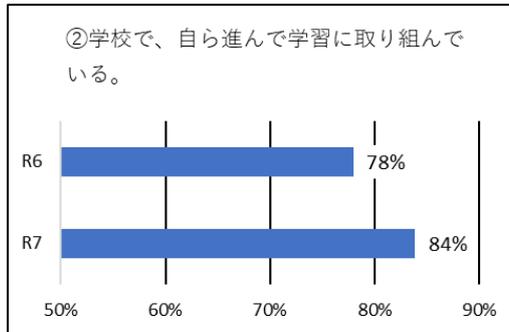
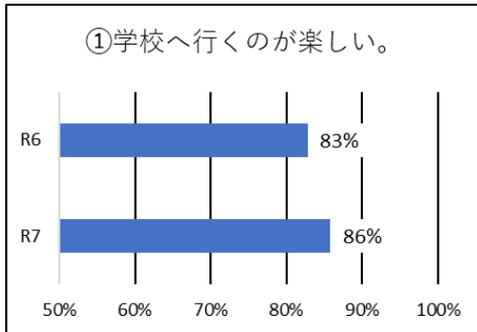
## 令和 7 年度 学校教育自己診断「学校教育アンケート」の結果について

平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

11 月に実施いたしました「学校教育アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。

昨年度の結果とあわせて、今年度の結果についてお知らせいたします。

### 【児童用アンケート結果】※全学年対象



## アンケート結果について

### ①肯定的回答が高い項目

#### 【児童】

- ・学校へ行くのが楽しい。【86%】
- ・学校で、コンピュータやプロジェクター、タブレット端末を使った授業をしている。【87%】
- ・学校では、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学ぶことができる。【89%】

#### 【保護者】

- ・子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。【86.6%】
- ・子どもは、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学んでいる。【88.5%】

### ②肯定的回答が低い項目

#### 【児童】

- ・読書をよくする。【73%】

#### 【保護者】

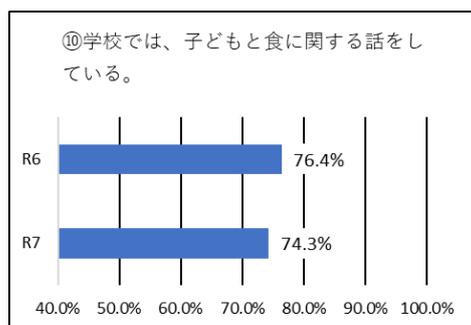
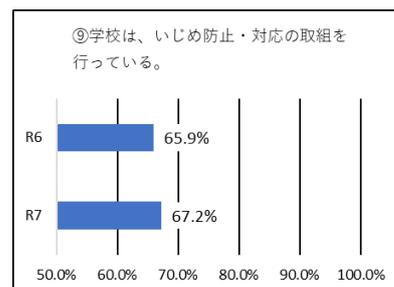
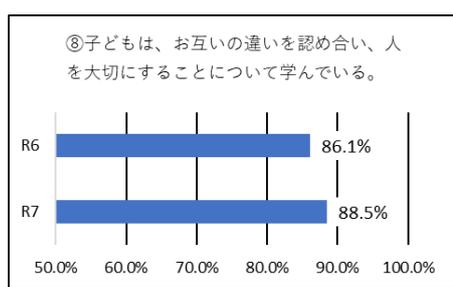
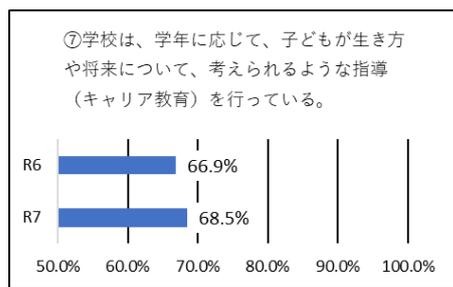
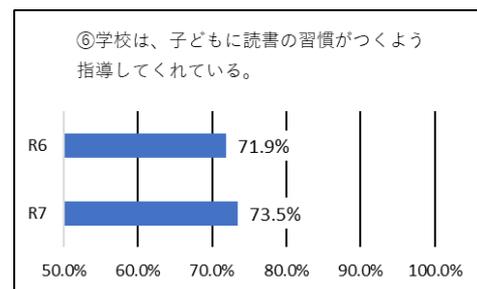
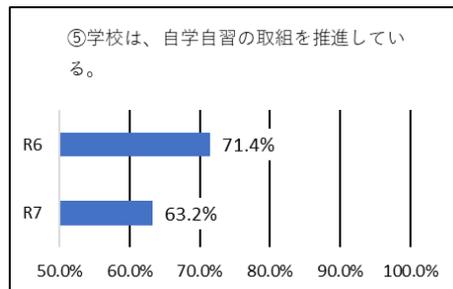
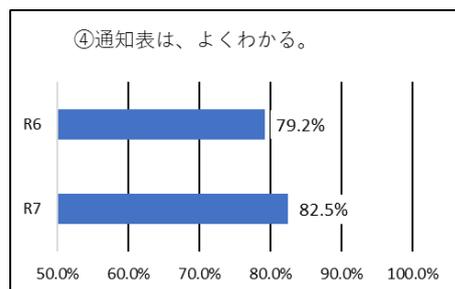
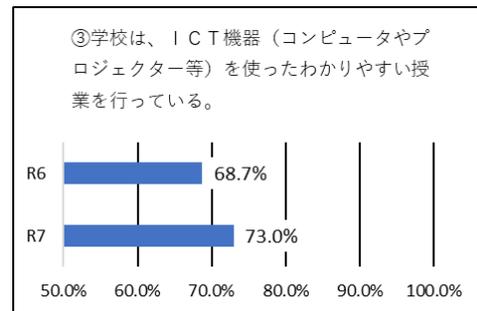
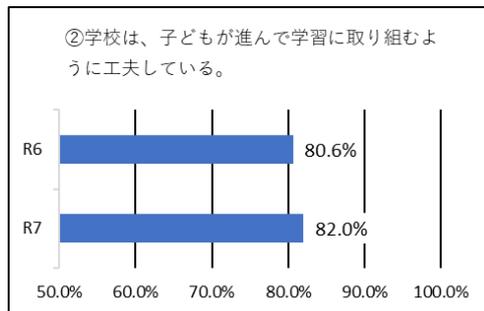
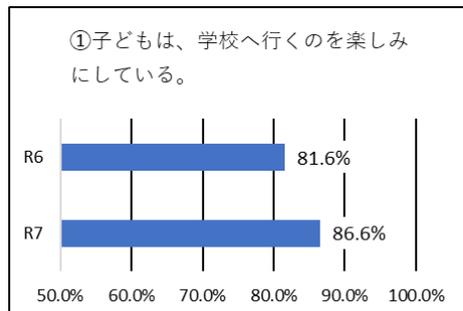
- ・学校は、ICT 機器（コンピュータやプロジェクター等）を使ったわかりやすい授業を行っている。【73%】
- ・学校は、自学自習の取組を推進している。【63.2%】
- ・学校は、子どもに読書の習慣がつくよう指導してくれている。【73.5%】
- ・学校は、学年に応じて、子どもが生き方や将来について、考えられるような指導（キャリア教育）を行っている。【68.5%】
- ・学校は、いじめ防止・対応の取組を行っている。【67.2%】
- ・学校では、子どもと食に関する話をしている。【74.3%】

### ③前年度より肯定的回答が5%以上増減のあったもの

#### 【児童】

- ・学校で、自ら進んで学習に取り組んでいる。  
R6：78% → R7：84%【6%増】
- ・学校では、いじめ防止の取組について学ぶことがある。  
R6：82% → R7：89%【7%増】

## 【保護者用アンケート結果】※全学年保護者対象



### 【保護者】

- ・子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。  
R6：81.6% ➔ R7：86.6% **【5%増】**
- ・学校は、自学自習の取組を推進している。  
R6：71.4% ➔ R7：63.2% **【8.2%減】**

## 2 成果と課題について

### 【児童アンケート結果について】

昨年度に比べて、「学校へ行くのが楽しい」「学校で自ら進んで学習に取り組んでいる」「学校では、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学ぶことができる」等の項目において、肯定的な割合が高い結果となりました。

中でも「学校で主体的に学習に取り組んでいる」については、昨年度に比べて6%肯定的な割合が増加しています。ICT機器を活用しながら主体的に学習することができる授業づくり等の取組が今回の結果に表れていると考えられます。

また、「学校では、いじめの防止の取組について学ぶことがある」についても昨年度より7%増加しました。いじめ防止の取組については、いじめ防止リーフレットを活用した授業の実施や、児童会による「いじめ防止」の取組として、子どもたちがいじめ防止啓発を発信する場を設けたり、生活アンケート実施後、担任・学年による事後指導を行ったり等、様々な取組を行っています。校内の会議においても、SC・SSWを交えた「いじめ等対策会議」を定期的に実施しています。今後もいじめ防止につながる取組を継続して実施しながら、児童の居場所作りや安全安心な環境を整えていきます。

### 【保護者アンケート結果について】

「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」「子どもは、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学んでいる」については、特に肯定的な割合が高い結果となりました。

また、「学校は、ICT機器を使ったわかりやすい授業を行っている」に関しても、昨年度より4.3%肯定的な割合が増加しています。児童アンケート結果同様、タブレットや大型モニター等を使用した学習の様子が家庭学習でも活用されていると考えられます。

しかしながら、「学校は、自学自習の取組を推進している」項目の割合については、昨年度に比べ8.2%減少しています。学校でも自学自習の内容のわかりやすい提示や「学び週間」での取組の充実、タブレットドリルの活用した家庭学習等を推進しながら、児童だけではなく、保護者の方にも伝わる形での自学自習の推進に取り組んでいきます。

その他の「キャリア教育」「いじめ防止の取組」「読書指導」等についても、学校での取組の更なる発信や、学校と家庭、地域が連携・協力しながら取組を進めていけるように学校全体で努めていきます。

今回の学校教育アンケートの結果は、校内で分析した上で今後の教育活動全体に反映していきます。記述欄にもいただいたご意見に関しても、教育的効果や実現可能な取組等を精査しながら、ていねいに進めていけたらと思っています。今回のアンケート結果による本校の課題や保護者の方々のご意見・ニーズを、今後の魅力ある学校づくりにいかしていきます。今後も、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。